

# 企業価値を創造する グローバル人財の体系的な育成

「社員は企業にとって持続的成長を続けるための重要な財産」との認識のもと、当社では社員を「人材」ではなく「人財」と捉えています。人財を育てることは、ジークトの未来を創ることであり、未来を創造できる人財を造り上げるための育成こそが当社の人財育成制度です。「すべての社員に成長の機会を提供し、自主的なスキルアップを支援すること」と「次の時代に向け新たな価値を生み出す人財を創出すること」を方針に定め、社員と企業がともに成長する姿を目指しています。

【人財育成方針】

<https://www.g-tekt.jp/environment/humanrights.html>



## グローバル視点を持った経営人財の育成を可能とする人事イノベーション

革新的な人財を創出するため、当社の人事制度は年功制を廃止し、より公平で実力が反映される制度としています。そして、その人事制度を支えるために独自の人財育成制度を設けています。これまでの「先人の背中を見て覚えるOJT」だけでなく、会社主導で計画的に育成する制度としています。

新入社員向けに実施している入社時研修、ものづくりを一から体得する生産・技術研修、社員が一堂に集まる階層別研修や目的別研修、ワークショップの実施、更には、継続的学習が必要な語学習得等を支援する自己啓発支援制度を設けています。社会人になっても学び成長する人財をサポートしています。

### 階層別研修

対象	研修名
内定者	内定者入社前教育(通信・E-learning) 入社前集合研修
新人・若手	新入社員集合研修 生産現場・技術部門研修
	若手社員合同研修 新3等級研修(業務執行力の強化) 新4等級研修(論理的思考力の実践)
	新5等級研修(フォローシップの理解) 新6等級研修(部下育成マネジメント) 新任管理職研修 管理職ワークショップ コンプライアンス研修
中堅・管理職	

### 選抜研修

対象	研修名
中堅・管理職	女性リーダー研修 海外赴任前語学学習 女性部下を持つ上司のための研修 外部経営スクールへの派遣

### 自己啓発支援

対象	研修名
全正社員	生産マイスター講座受講 英語力UPプログラム 経営知識習得のためのE-learning 等

## コーポレート・スローガン「Shape the Future」の実現に向けて

当社をとりまくビジネス環境は、グローバル化、技術の高度化、そして少子高齢化の中にあります。次の時代を担う人財を継続的に育成していくためには、ダイバーシティ&インクルージョン(多様性)、働き方改革、グローバル人財育成、ジョブアサインメントマネジメントの4つの柱を総合的に改革することが重要だと考えています。

### 人財育成4つの柱

#### 1 ダイバーシティ&インクルージョン (具体的な取り組み)

- ・女性幹部登用
- ・異業種経験者の採用促進

#### 2019年3月期の成果

女性の意識改革を促す研修を重ね、2019年4月に女性管理職5名を登用しました。キャリア採用にも注力し、多様なバックグラウンドを持つ人財採用に着手しています。

#### 2 働き方改革 (具体的な取り組み)

- ・柔軟な労働環境
- ・残業時間の削減

本社においては、コアタイムを無くしたフレックス制度を導入し、海外のお客様にも柔軟に対応できる環境となっています。また、子育てや介護を必要とする社員だけでなく、社外セミナー等の参加を通して自己成長につなげたい社員にも活用されています。

#### 3 グローバル人財育成 (具体的な取り組み)

- ・高度専門知識
- ・語学と商才

2014年3月期より開始した短期海外留学制度の参加者は延べ28名となりました。帰国後は、事業戦略に沿った配属を行い、2019年9月時点では既に3名が駐在員として活躍しています。

#### 4 ジョブアサインメントマネジメント (具体的な取り組み)

- ・個人の成長
- ・キャリア形成

社員と事業の成長をつなげるには、社員全員に対する適切なジョブアサインメントと当社ビジョンの共有を通じて求心力を高める必要があります。当社では2018年から国内に勤務する全管理職を対象に、自部門のビジョンとミッションについて対話を通して共有しながら社員全員が成果を出せるようなワークショップを実施しており、会社主導で良好な職場づくりを行っています。

今後は上記に加えて、次期経営トップ人財の排出、魅力ある製造業人財の育成、グローバル人財や専門性をもった人財が活躍できる企業像をありたき姿として掲げ、その実現に向けて取り組んでいきます。

### 人材開発部からのメッセージ



事業管理本部  
人材開発部 部長  
馬場 猛

#### 大変革期を勝ち抜く次世代人財育成を推進しています

自動車産業のグローバル化に伴い、当社は1980年代から海外展開を開始し、国内サプライヤーとしてはトップクラスの海外拠点数を有するまでに成長しました。先人達が築き上げてきた海外拠点は新たな段階への進化として、日本のやり方を持ち込むだけでなく、ナショナルスタッフと融合した現地化を進める真の現地化が求められています。ジークトの技術力を向上させながら現地化をより深化させるためには、常に駐在者がナショナルスタッフと真剣に議論を交わしベストな方法を築いていく必要があります。それらの事業環境を見据えて開始したのが当社の短期海外留学制度です。現在28名の修了者が帰国後に生産、技術、営業、管理部門に配属され、それぞれの専門分野で経験とスキルを積み重ねています。